

## 足助病院に 太陽光発電付きカーポートを設置

MYパワーは電気の小売事業を行う会社ですが、もう一つの大きな目的として『地域で作った電気を地域で使う』、すなわち『エネルギーの地産地消』によって『**地域経済循環**』を作り出すということがあります。



駐車場の屋根に太陽光発電(PV)を設置し、その電気を足助病院に供給します。駐車場で**電気自動車(EV)**を充電し、訪問介護などに使っていただきたいと考えています。さらには災害時の非常用電源としても使用できるものです。このような仕組みをこの地域に広げていきたいと思えます。

その第一号を我々の拠点である足助病院の駐車場に設置をします。地域の方々に現物に接していただくショールームの役割もあります。近々、地域の皆様にも**ご協力をお願いする**と思えます。

(エネルギー事業部：関原)

## スタッフ募集！ 地域と一緒に働きませんか

地域内で働ける人を増やしていくこと。これも、私たちが目指す「地域経済循環」の大きな視点ですが、今回、地域採用を行う準備が整いました。新しいスタッフを募集します。少人数の事務所ですので、アットホームで自分の時間と両立しやすい環境です。勤務時間等も相談に応じます！電気の知識が無くてもOK。お気軽にお問合せ下さい。(総務部：浦野)



- **仕事内容**：パソコンを使った電力の顧客管理・切替業務、電話・来客の対応など、
- **勤務時間**：週3日、9時～16時（ご相談下さい）  
\*土日に出勤をお願いすることもあります
- **時給**：1,200円（試用期間あり）  
\*いずれはMYパワーを担う正社員として！
- **勤務地**：(株)三河の山里コミュニティパワー（足助病院内）
- **必要なスキル**：ワード、エクセルの基本操作  
コミュニケーション力
- **その他**：交通費支給、テイル組織を目指しています！
- **応募方法**：お電話ください（下記/平日9時～15時）

◆ **編集後記**～「我々のこと伝えられてないね」「会社四季報を出そう！」と、10/12の打合せで本紙の発行が決定。発行まで3週間。電力業務はもちろん、24件の打合せもあるなか、一応の形にはなったのかなと。たすけあえば何とかかなりますね！ただ「MYパワーNEWS」は仮称のまま。そう、あなたのアイデアを採用して完成です。名称募集中です～（庄司）



株式会社 三河の山里コミュニティパワー

〒444-2351 愛知県豊田市岩神町仲田20 足助病院内(サテライト・サロン)

Tel.0565-61-2773(たすけあいプロジェクト事務局) Fax.0565-61-2772

http://www.my-power.jp E-mail:info@my-power.jp



マイ  
**MYパワー NEWS**

ニュース

創刊  
準備号  
2020  
11月

株式会社 三河の山里コミュニティパワー 発行

地域の課題解決と地域経済循環を進める地域会社として、「たすけあいプロジェクト」を中心に、新たに電力事業にも取り組みます。地域のみなさんが協働、参加する会社を目指しています。

地域を元気に！



## ご挨拶 ～ 設立からこれまで ～

三河の山里コミュニティパワー（MYパワー）は、2019年6月3日に設立された「**地域課題解決**」のための電気会社です。1年以上が経過しましたので、わが社のここまでの活動をお知らせします。

電力小売事業は、豊田市の対象地域の事業所の切り替えから始まり、豊田市、中部電力の協力も得て、本年8月末で完了しました。民間事業所への電気購入切り替えも進み始めました。これにより**得られる利益をもとに**「たすけあいプロジェクト」の進展、中部電力との新しい地域サービスの開発、再エネの普及促進にまい進できます。しかしコロナの影響で、地域の人々との交流、議論、課題の抽出が思うように進みません。「たすけあいプロジェクト」の普及、発展もままならず、悪戦苦闘、職員一同知恵を出し合って、**個々の困っている人々をまず手助けしよう**と頑張っています。

毎週、経営会議が開かれ、スタッフに加え、豊田市未来都市推進課、中部電力事業創造本部の方にも参加していただき、活発でオープンな議論ができています。また、おいでん・さんそんセンターのみなさんと「テイル組織」のことや地域の課題解決に向けての協議も進めています。私たちの活動はいろいろなところから注目され、環境省、中部経産局の補助金、トヨタ財団の助成金も得ることが出来ました。また、再エネ事業として足助病院にPVカーポートを設置することになりました。小さな1歩ですが、広く地域へ広がることを願っています。この1年の成果をもとに、地域の人々とともに、地域の課題解決を通じて「**地域経済循環の向上**」「**地域自治への意識醸成**」を目指して突き進みます。引き続きご協力とご支援をお願い申し上げます。

代表取締役 早川 富博

スタッフの  
ひとこと

昨年12月に萩野地区に移住してきました。朝晩が寒く薪ストーブが恋しい季節になってきましたね。エネルギーを自給できるような暮らしを目指しています（関原）

おかげさまで**公共施設 723 件**の電力の切替が無事完了しました。(対象は右表)

作業としては、①契約手続き、②オンラインシステムへの登録、③確認・修正、④広域機関での切替手続きがあり、登録だけで1件につき**90項目を超える入力・確認作業**。昨年の夏から小売事業全般のことやシステムの操作方法など、専門的な学習を受けての業務でしたが、初めてのこと。さらにコロナ騒動で在宅ワークが急増し、その影響で日中の通信速度が著しく遅くなったことも重なり、夜と朝の限られた時間で進めることになりました。

<b>豊田市 山村地域</b> (旭・足助・稲武・小原・下山地区) + <b>豊田市 山村地域に準ずる地域</b> (矢並、西広瀬、東広瀬、中金、上鷹見、滝脇、豊松、御作の小学校区)	市直営施設	支所・交流館 小中学校など	260
	指定管理施設	どんぐりの湯 旭高原元気村 香恋の里など	130
	上下水道施設	浄水場・配水場 ポンプ場など	333
	合 計		723

昨年 11 月から順次切り替えていき、**想定以上に時間がかかり**ましたが、今年の 8 月末、予定全ての公共施設を切り替えることができました。

この小売事業による利益は、足助・旭のたすけあい事業（高齢者の健康見守り／移動支援／お出かけ促進）の運営費用を中心とした MY パワー全体の経営の原動力になります。今後は地域ごとの課題解決と経営の持続に向けて、**民間企業と一般家庭の電力切替も進めます**。体制や進め方が整い次第ご案内します。

(エネルギー事業部：庄司)



### 【チイキ・ノ・ウゴキ】 大蔵弁当

10月2日「**配食サービス大蔵弁当**合同会社」代表の鈴木恭二さん、松井研二さんと MY パワーの意見交換を行いました。同社は、同じ地域に住む人たちの手で、一人暮らしの**高齢者の安否確認を兼ねて**手作りのお弁当を届けています。たすけあい事業のボランティアドライバーさんでもある鈴木さんからの打診で、MY パワーの電気を使っていただけに。それがきっかけで、他にも何か一緒にできることはないかと意見交換の場を持ちました。

設立の経緯は、豊岡の残土置場に総合福祉センターの建設を熱望。その第一歩として、まずは**自分達でできそうな配食サービス**に取りかかったとのこと。MY パワーの前身、足助病院の地域医療の 23 年の取り組みでも配食サービスを試行しましたが、この地域での事業化はとて大変なことだったようです。おふたりの**大胆な突破力**だけでなく**大きな夢と地域愛**があったからこそ実現できたのだと思いました。(経営企画室：萩原)



バランスのとれたお弁当は地域の皆さんに大好評！



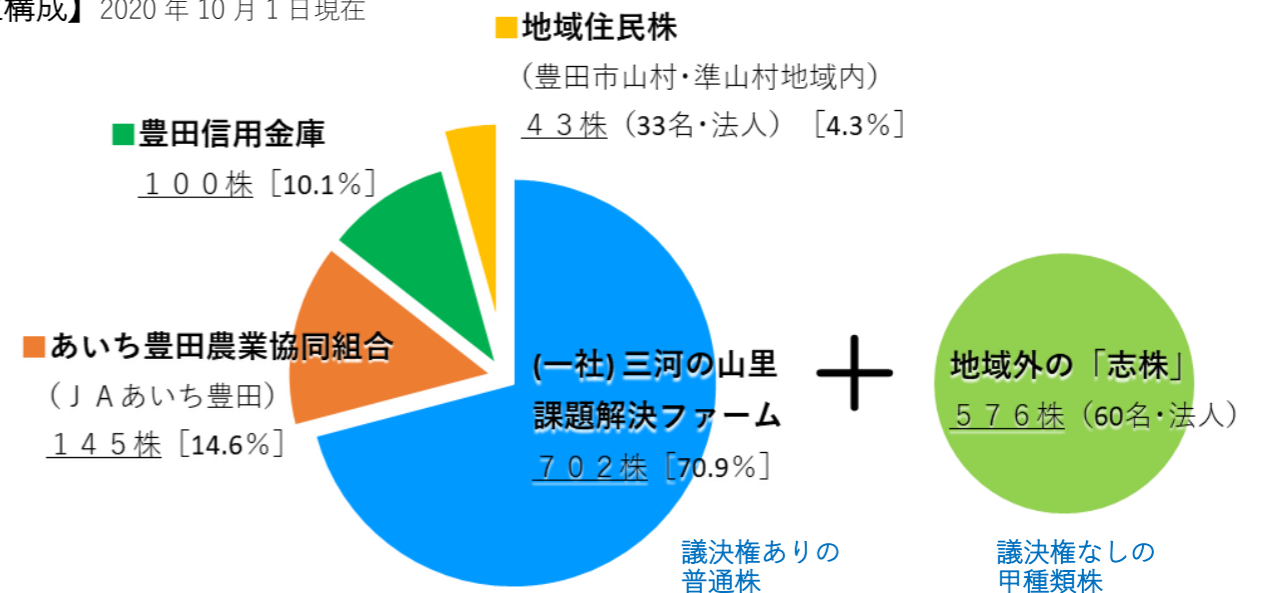
井ノ口町に住んでいます。足助に住んで4年目。まだまだ足助について知らないことばかりなので皆さんいろいろ教えてください (林)

MY パワーは当初 990 株でスタートをしました(一般社団法人 三河の山里課題解決ファーム 745 株、JA あいち豊田 145 株、豊田信用金庫 100 株)。第 2 期募集では山間地域の市民の方々に三河の山里課題解決ファームの保有する**株を譲渡する形**をとりました。現在地域の方々から 43 株を持っていただいています。その他、地域外の方々には「志株」として 576 株を持っていただきました。「住民のみなさんとともにある会社」に少し近づいたように感じています。ありがとうございました。

MY パワーは『地域のお金と地域の人手で!』を目指しています。株式に対してもこの考えに基づいています。株式会社形態をとりましたが、目指している姿は地域のみなさんの手による「**互助会**」「**協同組合**」です。

そのこともあり、株式は「無配当」にしました。「**非営利の株式会社**」です。さらには地域外のみなさんの株式は専門的には『**甲種類株**』となり、配当もなければ、意思決定権もありません。当初、配当も意思決定権もない株を一体誰が買っていただけるのかとの声もありましたが、MY パワーが目指す目的に共感し、夢の実現に対して株を購入いただけました。**近々第3期の株主募集を予定**しています。(専務取締役：萩原)

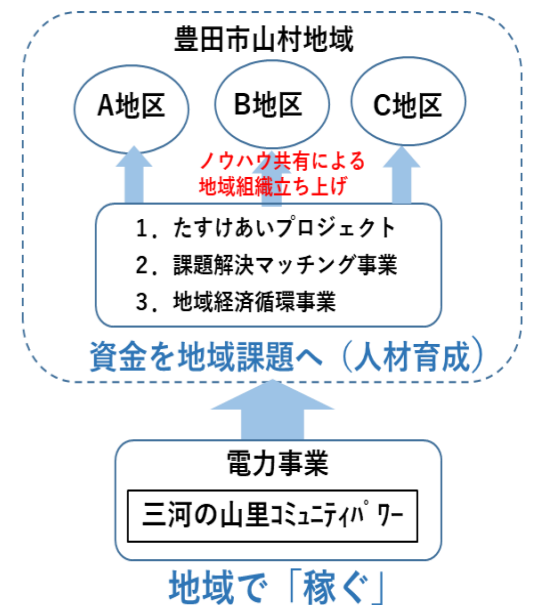
【株主構成】 2020年10月1日現在



### 狭き門・トヨタ財団助成金 採択

京都大学大学院で地域の内発的発展の研究をされてきた稲垣憲治さん(現在、(一社)ローカルグッド創成支援機構 事務局長)から、共同応募しませんかとお誘いがあり「トヨタ財団」の国内助成事業に応募しました。**採択率 5% 以下**の狭き門と聞いていたため、期待しつつも期待しないでいたら、なんと採択されました。

10月より2年間の事業です。3つのモデル地区を選定し、地域経済がうまく循環するための分析を踏まえて地域課題解決に臨みます。地域でお互いに**支え合うための仕組みをつくる**とともに、MY パワーの電力小売と絡めて地域の**若手人材育成**に投資する事業です。どうぞ期待。(経営企画室：村田)



コンビニスイーツが豊作で、秋の夜長のこっそり食がやめられません。「明日から頑張ろう」と思いつつ、健診が迫ってきました (浦野)